TRANSITION

トランジション

変額個人年金

月次 特別勘定運用レポート〈組入投資信託の運用状況〉

記載内容について

1. 特別勘定の運用方針・投資リスク等 …… 3 ページ
2. 組入投資信託の運用状況＜月次＞（世界バランス25SM、世界バランス50SM）・ 4 ページ
3. 組入投資信託の運用状況＜月次＞（世界バランス75SM） …… 7 ページ
4. 組入投資信託の運用状況＜月次＞（世界8資産バランスGS） ……11ページ
5. 組入投資信託の運用状況＜月次＞（世界株式SM） ……16ページ
6. 組入投資信託の運用状況＜月次＞（日本債券SM） ……18ページ
7. 組入投資信託の運用状況＜月次＞（外国債券SM） ……19ページ
8. ご留意いただきたい事項について ……20ページ

当資料をご覧いただく際の留意事項

- 当資料はニッセイ・ウェルス生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険（トランジション）の各組入投資信託の運用状況等を開示するための資料です。各ご契約者の運用状況等は、毎年4回お送りする「ご契約状況のお知らせ」をご覧下さい。 当資料の記載事項は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。
- 一部表記について、世界バランス25SMを「バランス25」、世界バランス50SMを「バランス50」、世界バランス75SMを「バランス75」、世界8資産バランスGSを「8資産バランス」と読み替えています。
- 特別勘定は投資信託を主たる投資対象としていますが、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- 当資料は運用会社（投資信託委託会社）が作成した運用レポートを参考情報としてご提供するものであり、当資料の内容に関しニッセイ・ウェルス生命保険株式会社は一切の責任を負いません。
- 特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
- 当資料の巻末に「当商品に関する留意事項」を記載しておりますので、必ずご一読いただき、内容を十分にご確認下さい。

ニッセイ・ウェルス生命

TRANSITION

トランジション

変額個人年金

⚠ はじめに必ずご確認ください

この商品は、ご契約日により、

下記の通り名称が異なる場合があります。

ご契約日	販売名称	年金額９割保証特約、年金額８割保証特約の取扱対象
2010年３月１日以前の場合	「変額個人年金トランジション」	対　象
	「変額個人年金トランジション ターゲット・プラン」	――
2010年３月２日以降の場合	「変額個人年金トランジション ベーシック・プラン」	――
	「変額個人年金トランジション ターゲット・プラン」	――

特別勘定の運用方針・投資リスク等

お選びいただける特別勘定		特別勘定の名称	主たる投資対象とする投資信託	運用会社	特別勘定の運用方針・投資リスク	運用関連費用
ベーシック・プラン＊1	ターゲット・プラン					
○		バランス25	SMAM・インデックス・バランス VA25	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	中長期的な収益の確保を目指し、主として国内株式、国内債券、外国株式および外国債券に分散投資します。国内株式および外国株式の基準構成割合を合わせて 25% とします。外国株式、外国債券等の外貨建資産への為替ヘッジは原則として行いません。 【投資リスク】主に「価格変動リスク」「為替リスク」「金利変動リスク」等があります。	年率 0.330%（税込）
○		バランス50	SMAM・インデックス・バランス VA50		中長期的な収益の確保を目指し、主として国内株式、国内債券、外国株式および外国債券に分散投資します。国内株式および外国株式の基準構成割合を合わせて 50% とします。外国株式、外国債券等の外貨建資産への為替ヘッジは原則として行いません。 【投資リスク】主に「価格変動リスク」「為替リスク」「金利変動リスク」等があります。	年率 0.330%（税込）
○		バランス75	SMAM・国内株式インデックスファンド・VA 三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS 三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS		中長期的な収益の確保を目指し、主として国内株式、国内債券、外国株式および外国債券に分散投資します。国内株式および外国株式の基準構成割合を合わせて 75%とし、市場ベンチマークへの連動を目指します。外国株式、外国債券等の外貨建資産への為替ヘッジは原則として行いません。 【投資リスク】主に「価格変動リスク」「為替リスク」「金利変動リスク」等があります。	年率 0.29095% 程度（税込）＊2
○	○	世界株式SM	SMAM・国内株式インデックスファンド・VA 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS		中長期的な収益の確保を目指し、主として国内株式、外国株式に分散投資します。基準となる構成割合を国内株式 20%、外国株式 80% に設定し、市場ベンチマークとの連動を目指します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 【投資リスク】主に「価格変動リスク」「為替リスク」等があります。	年率 0.3080% 程度（税込）＊2
○	○	日本債券SM	三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS		中長期的な収益の確保を目指し、主として国内の公社債に投資します。主に高格付の債券を投資対象とした安定運用を行い、市場ベンチマークとの連動を目指します。 【投資リスク】主に「価格変動リスク」「金利変動リスク」等があります。	年率 0.220%（税込）
○	○	外国債券SM	三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS		中長期的な収益の確保を目指し、主として日本を除く世界各国の公社債に投資します。主に高格付の債券を投資対象とした安定運用を行い、市場ベンチマークとの連動を目指します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 【投資リスク】主に「価格変動リスク」「為替リスク」「金利変動リスク」等があります。	年率 0.253%（税込）
○		8資産バランス	グローバル・ダイバーシファイド VA	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社	先進国の株式・債券に加え、新興国の株式・債券、不動産投資信託（リート）およびコモディティ・インデックスに幅広く分散投資し、中長期的な収益の確保を目指します。アクティブ運用を行い、市場のベンチマークを上回る運用成果を追求します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 【投資リスク】主に「価格変動リスク」「為替リスク」「金利変動リスク」「不動産の価格変動リスク」「商品市場の変動リスク」等があります。	年率 0.89275% 程度（税込）

＊1 ご契約日が 2010 年 3 月 1 日以前のご契約は「トランジション」、ご契約日が 2010 年 3 月 2 日以降のご契約は「ベーシック・プラン」となります。

＊2 主な投資対象とする投資信託の信託報酬率を基準構成割合で加重平均した概算値です。主な投資対象とする投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価額の変動などに伴う実際の配分比率の変動により、運用関連費用も若干変動します。

※特別勘定が主な投資対象とする投資信託は、適格機関投資家専用に設定された投資信託です。このため、投資家の皆さまは、当該投資信託を直接購入することはできません。

※「バランス 75」、「世界株式 SM」の各資産クラス別の投資信託への資産配分については、純資産総額に対しておおむね基準構成割合のグラフの比率となるよう、ニッセイ・ウェルス生命が資産配分の調整を行います。

※運用関連費用は信託報酬を記載しています。信託報酬以外でお客さまにご負担いただく手数料は信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニット価格に反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

※運用関連費用はご選択いただいた特別勘定の投資対象となる投資信託の信託財産に対して日割りで控除します。

※運用関連費用は運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

作成基準日　2025年5月末

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

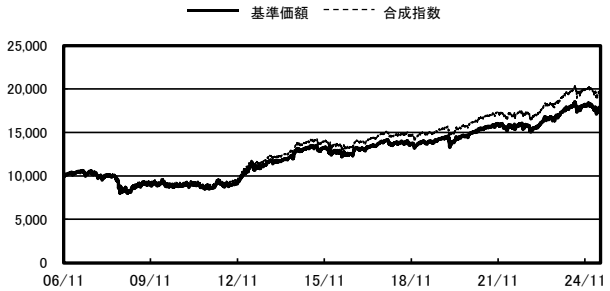
組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界バランス 25SM	SMAM・インデックス・バランスVA 25<適格機関投資家専用>	三井住友DSアセットマネジメント株式会社
世界バランス 50SM	SMAM・インデックス・バランスVA 50<適格機関投資家専用>	

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

＜SMAM・インデックス・バランスVA25＞

● 設定来運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ 合成指数は、2006年11月17日を10000として、ＴＯＰＩＸ（東証株価指数、配当込み）、ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（総合）、ＭＳＣＩコクサイインデックス（配当込み、円ベース）、ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	1.08%	−0.02%	−1.10%	−0.71%	78.15%
合成指数	1.17%	0.29%	−0.70%	0.04%	96.98%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
　上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
※ 設定来は、2006年11月17日を基準とします。

● マザーファンド組入比率

（2025年5月30日現在）

	ファンド	基本資産配分
①国内株式	15.5%	15.0%
②外国株式	9.7%	10.0%
株式合計(①+②)	25.2%	25.0%
③国内債券	39.3%	40.0%
④外国債券	35.1%	35.0%
債券合計(③+④)	74.4%	75.0%

＜SMAM・インデックス・バランスVA50＞

● 設定来運用実績

■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ 合成指数は、2006年11月17日を10000として、ＴＯＰＩＸ（東証株価指数、配当込み）、ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（総合）、ＭＳＣＩコクサイインデックス（配当込み、円ベース）、ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	2.75%	0.64%	−0.31%	0.98%	137.86%
合成指数	2.90%	1.08%	0.26%	2.07%	167.63%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
　上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
※ 設定来は、2006年11月17日を基準とします。

● マザーファンド組入比率

（2025年5月30日現在）

	ファンド	基本資産配分
①国内株式	25.4%	25.0%
②外国株式	24.6%	25.0%
株式合計(①+②)	50.0%	50.0%
③国内債券	24.9%	25.0%
④外国債券	24.6%	25.0%
債券合計(③+④)	49.5%	50.0%

各個別資産の市況推移に関しては、該当ページの各コメントをご参照ください。

国内株式：世界バランス75SMの＜SMAM・国内株式インデックスファンド・VA＞
国内債券：世界バランス75SMの＜三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS＞
外国株式：世界バランス75SMの＜三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS＞
外国債券：世界バランス75SMの＜三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS＞

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

作成基準日　2025年5月末

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界バランス 25SM	SMAM・インデックス・バランスVA 25<適格機関投資家専用>	三井住友DSアセットマネジメント株式会社
世界バランス 50SM	SMAM・インデックス・バランスVA 50<適格機関投資家専用>	

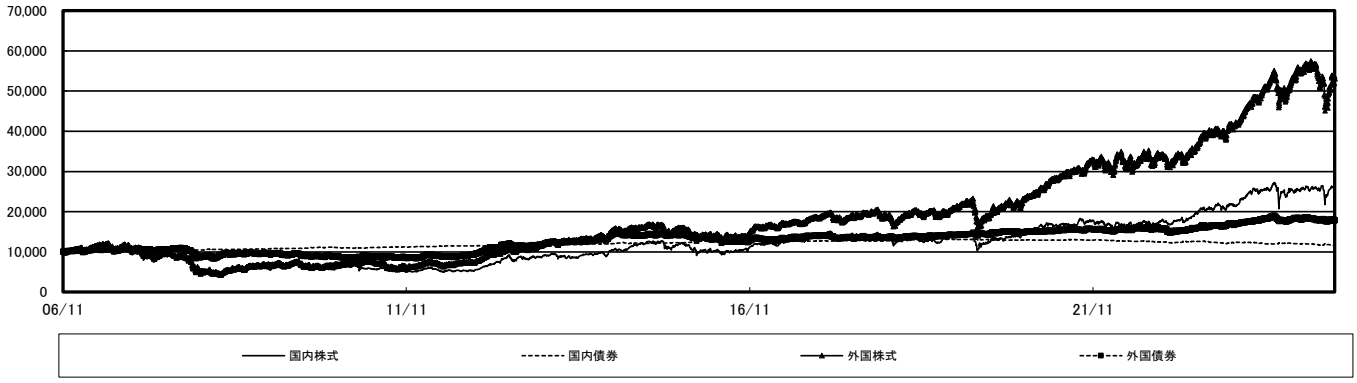
■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

＜参考情報 SMAM・インデックス・バランスVA25、50＞

● SMAM ・インデックス・バランスVA25、50は次のマザーファンドを主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用されています。

・国内株式：国内株式インデックス・マザーファンド（B号）
・国内債券：国内債券パッシブ・マザーファンド
・外国株式：外国株式インデックス・マザーファンド
・外国債券：外国債券パッシブ・マザーファンド

● マザーファンドの基準価額の推移



■ 各マザーファンドの基準価額は、2006年11月17日を10000とした指数として表示しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
国内株式	ファンド	5.10%	5.71%	5.94%	3.61%	166.78%
	ベンチマーク*1	5.10%	5.69%	5.92%	3.58%	165.34%
国内債券	ファンド	−1.28%	−1.71%	−3.18%	−2.77%	16.27%
	ベンチマーク*2	−1.29%	−1.68%	−3.16%	−2.76%	16.13%
外国株式	ファンド	7.22%	−0.99%	−2.23%	5.42%	431.06%
	ベンチマーク*3	7.27%	−0.86%	−2.07%	5.73%	446.01%
外国債券	ファンド	0.56%	−0.11%	−1.08%	−1.71%	78.52%
	ベンチマーク*4	0.56%	−0.14%	−1.11%	−1.77%	80.27%

※　設定来は2006年11月17日を基準とします。
上記騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

*1：TOPIX（東証株価指数、配当込み）
*2：NOMURA－BPI(総合)
*3：MSCIコクサイインデックス（配当込み、円ベース）
MSCI Inc.が開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。
*4：FTSE世界国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ（除く日本、円ベース）
FTSE Fixed Income LLCの開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。

● マザーファンド純資産総額

（2025年5月30日現在）

	純資産総額（百万円）
国内株式	380,579
国内債券	135,289
外国株式	956,888
外国債券	190,284

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

作成基準日　2025年5月末

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界バランス 25SM	SMAM・インデックス・バランスVA 25<適格機関投資家専用>	三井住友DSアセットマネジメント株式会社
世界バランス 50SM	SMAM・インデックス・バランスVA 50<適格機関投資家専用>	

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

＜参考情報 SMAM・インデックス・バランスVA25、50＞

マザーファンドの状況（2025年5月30日現在）

【国内株式】

マザーファンド名：国内株式インデックス・マザーファンド（B号）

● 組入上位10業種

	業種名	比率
1	電気機器	17.4%
2	銀行業	9.0%
3	情報・通信業	7.8%
4	輸送用機器	7.3%
5	卸売業	7.0%
6	機械	5.9%
7	化学	4.8%
8	小売業	4.8%
9	サービス業	4.5%
10	医薬品	4.1%

※マザーファンド現物株式評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	トヨタ自動車	3.6%
2	ソニーグループ	3.2%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.2%
4	日立製作所	2.6%
5	三井住友フィナンシャルグループ	1.9%
6	任天堂	1.8%
7	リクルートホールディングス	1.6%
8	キーエンス	1.5%
9	三菱重工業	1.5%
10	東京海上ホールディングス	1.4%

※マザーファンド純資産総額対比　（組入全銘柄数　1,639 ）

【国内債券】

マザーファンド名：国内債券パッシブ・マザーファンド

● 債券種別構成

国債	78.6%
政府保証債	1.7%
地方債	9.6%
金融債	0.0%
事業債	8.7%
円建外債	0.0%
その他	1.4%

※マザーファンド債券評価額対比

● 残存年限別構成

1年未満	1.6%
1-3年	18.0%
3-5年	18.4%
5-7年	11.7%
7-10年	17.4%
10年以上	32.9%

※マザーファンド債券評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	471 2年国債	5.9%
2	177 5年国債	1.4%
3	157 5年国債	1.4%
4	378 10年国債	1.3%
5	370 10年国債	1.1%
6	373 10年国債	1.0%
7	178 5年国債	0.9%
8	154 5年国債	0.9%
9	359 10年国債	0.9%
10	368 10年国債	0.8%

※マザーファンド純資産総額対比　（組入全銘柄数　438 ）

【外国株式】

マザーファンド名：外国株式インデックス・マザーファンド

● 国別投資比率

国名	比率
アメリカ	73.2%
イギリス	3.8%
カナダ	3.5%
スイス	2.9%
フランス	2.8%
その他	13.8%

※マザーファンド株式評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.9%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.6%
3	APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	4.3%
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・ｻｰﾋﾞｽ流通・小売り	2.8%
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	2.0%
6	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.5%
7	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.5%
8	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.4%
9	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.2%
10	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.1%

※マザーファンド純資産総額対比　（組入全銘柄数　1,170 ）

【外国債券】

マザーファンド名：外国債券パッシブ・マザーファンド

● 通貨別構成

アメリカドル	45.9%
ユーロ	30.4%
中国元(オフショア)	11.4%
イギリスポンド	5.6%
カナダドル	2.0%
その他	4.8%

※マザーファンド債券評価額対比

● 残存年限別構成

1年未満	1.5%
1-3年	28.5%
3-7年	34.1%
7-10年	13.5%
10年以上	22.4%

※マザーファンド債券評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	通貨	比率
1	US TREASURY N/B 1.625 05/15/26	アメリカドル	0.8%
2	CHINA GOVERNMENT BOND 2.39 11/15/26	中国元(オフショア)	0.8%
3	CHINA GOVERNMENT BOND 2.04 02/25/27	中国元(オフショア)	0.6%
4	US TREASURY N/B 4.25 11/30/26	アメリカドル	0.6%
5	CHINA GOVERNMENT BOND 3.72 04/12/51	中国元(オフショア)	0.6%
6	CHINA GOVERNMENT BOND 2.69 08/12/26	中国元(オフショア)	0.5%
7	US TREASURY N/B 3.875 08/15/34	アメリカドル	0.4%
8	US TREASURY N/B 4.125 02/15/27	アメリカドル	0.4%
9	US TREASURY N/B 4.125 11/15/32	アメリカドル	0.4%
10	CHINA GOVERNMENT BOND 2.4 07/15/28	中国元(オフショア)	0.4%

※マザーファンド純資産総額対比　（組入全銘柄数　871 ）

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

作成基準日　2025年5月末

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界バランス 75SM	SMAM ・国内株式インデックスファンド・VA（適格機関投資家専用） 三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用）	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

＜SMAM・国内株式インデックスファンド・VA＞

（2025年5月30日現在）

● 設定来運用実績

■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ ベンチマークは、ＴＯＰＩＸ（東証株価指数、配当込み）を指します。
■ ベンチマークは、2010年6月10日を10000として指数化しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	5.07%	5.62%	5.76%	3.25%	336.92%
ベンチマーク	5.10%	5.69%	5.92%	3.58%	358.57%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
　上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
※ 設定来は、2010年6月10日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
株式	98.3%	0.4%
先物等	1.8%	−0.3%
現預金等	−0.1%	0.0%
合　計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● 組入上位10業種

	業種名	比率
1	電気機器	17.4%
2	銀行業	9.0%
3	情報・通信業	7.8%
4	輸送用機器	7.3%
5	卸売業	7.0%
6	機械	5.9%
7	化学	4.8%
8	小売業	4.8%
9	サービス業	4.5%
10	医薬品	4.1%

※現物株式評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	トヨタ自動車	3.6%
2	ソニーグループ	3.2%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.2%
4	日立製作所	2.6%
5	三井住友フィナンシャルグループ	1.9%
6	任天堂	1.8%
7	リクルートホールディングス	1.6%
8	キーエンス	1.5%
9	三菱重工業	1.5%
10	東京海上ホールディングス	1.4%

※純資産総額対比　（組入全銘柄数　1,639 ）

国内の株式市場は上昇しました。
上旬は、国内企業の2024年度通期決算発表において、先行きに関して米関税政策の影響を反映して総じて保守的な見通しが多く見られましたが、日銀の追加利上げ観測後退による米ドル高・円安進行、米国と各国との貿易交渉進展期待から上昇しました。中旬は、米中の相互関税の大幅引き下げが好感される一方、米国債格下げが重石となり一進一退となりました。下旬は、日米長期金利上昇の一服、米国のEU（欧州連合）に対する追加関税導入の先送り、米半導体企業の決算内容を好感する形で上昇しました。
業種別では、非鉄金属、倉庫・運輸関連業、機械などが市場をアウトパフォームした一方、電気・ガス業、パルプ・紙、鉄鋼などがアンダーパフォームしました。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

作成基準日　2025年5月末

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

組入投資信託の運用状況〈月次〉

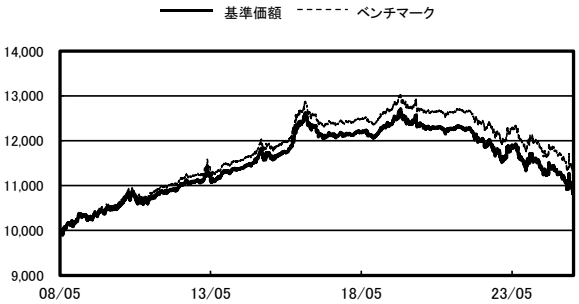
【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界バランス 75SM	SMAM ・国内株式インデックスファンド・VA（適格機関投資家専用） 三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用）	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

＜三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS＞

（2025年5月30日現在）

● 設定来運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ ベンチマークは、ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（総合）を指します。
■ ベンチマークは、2008年5月14日を10000として指数化しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	−1.30%	−1.77%	−3.30%	−3.00%	9.06%
ベンチマーク	−1.29%	−1.68%	−3.16%	−2.76%	13.32%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
　上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
※ 設定来は、2008年5月14日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
債券	99.8%	−0.1%
先物等	0.0%	0.0%
現預金等	0.2%	0.1%
合　計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● ポートフォリオの状況

平均クーポン	0.99%
平均修正デュレーション	8.39 年
平均利回り	1.45%

● 債券種別構成

国債	78.6%
政府保証債	1.7%
地方債	9.6%
金融債	0.0%
事業債	8.7%
円建外債	0.0%
その他	1.4%

※現物債券評価額対比

● 残存年限別構成

1年未満	1.6%
1−3年	18.0%
3−5年	18.4%
5−7年	11.7%
7−10年	17.4%
10年以上	32.9%

※現物債券評価額対比

国内の長期金利（10年国債利回り）は上昇しました。
月初は、日銀が成長率や物価の見通しを引き下げ、政策変更に慎重な姿勢も見せたことから、長期金利は低下して始まりました。その後は、米国で事前予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ米国金利が上昇したことや、中旬に行われた米中協議で90日間の関税引き下げが合意されたことから、国内金利は上昇が続きました。また、20年国債入札が記録的に低調な結果となるなど、財政悪化懸念が意識される中で超長期国債への需給不安が高まったことも、長期金利の上昇につながりました。下旬には、財務省が発行計画に関するアンケートを実施したことを機に超長期国債の発行減額への期待が高まり、長期金利は上昇幅をやや縮小しました。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

作成基準日　2025年5月末

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

組入投資信託の運用状況〈月次〉

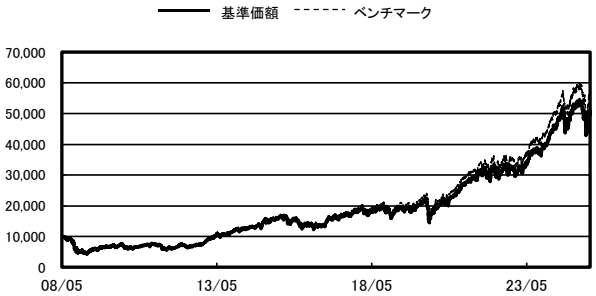
【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界バランス 75SM	SMAM ・国内株式インデックスファンド・VA（適格機関投資家専用） 三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用）	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

＜三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS＞

（2025年5月30日現在）

● 設定来運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ ベンチマークは、ＭＳＣＩコクサイインデックス（配当込み、円ベース）を指します。
■ ベンチマークは、2008年5月14日を10000として指数化しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	7.19%	−1.10%	−2.43%	5.01%	404.01%
ベンチマーク	7.27%	−0.86%	−2.07%	5.73%	455.54%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
　上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
※ 設定来は、2008年5月14日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
株式	97.6%	−0.3%
先物等	2.4%	0.1%
現預金等	0.0%	0.2%
合　計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● 国別投資比率

アメリカ	73.2%
イギリス	3.8%
カナダ	3.5%
スイス	2.9%
フランス	2.8%
その他	13.8%

※現物株式評価額対比（外貨建リートを含む）

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.9%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.6%
3	APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	4.3%
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・ｻｰﾋﾞｽ流通・小売り	2.8%
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	2.0%
6	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.5%
7	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.5%
8	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.4%
9	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.2%
10	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.1%

※純資産総額対比　（組入全銘柄数　1,170 ）

米国株式市場は上昇しました。トランプ大統領が関税政策を緩和するとの期待から、株式市場は月初から底堅く推移しました。さらに、米中の関税に関しても双方の歩み寄りが示されたことを好感し、一段高となりました。しかし、月の後半には、好材料の出尽くし感が広がる中、米国債格下げや長期金利の上昇などを受け、株式市場は下落する局面がありました。その後、米国のEU（欧州連合）に対する追加関税導入の先送りやエヌビディアの堅調な決算内容などを受けて持ち直し、S&P500インデックスは、年始からの下落分を取り戻して月を終えました。

欧州株式市場も上昇しました。米中の関税協議が進展したことから、世界的な景気後退が回避されるとの見方が広がりました。ロシアとウクライナの停戦期待や米国のEUに対する追加関税導入の先送りも下支え要因となりました。

（為替）米ドル/円は上昇しました。月前半は、日銀の追加利上げ観測後退や米英の貿易交渉合意、米中の関税引き下げ合意を背景に、米ドル高・円安が進みました。その後は、米国の物価指数が下振れしたことやトランプ減税に伴う財政悪化観測から、米ドル安・円高となりました。月末にかけては、米欧の関税交渉をめぐる観測からもみ合いの展開となりました。

ユーロ/円は上昇しました。為替市場が米関税政策をにらんだ米ドル中心の展開となったため、ユーロは米ドルに対して円と同じような動きとなり、ユーロ/円はもみ合いの展開となりました。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

作成基準日　2025年5月末

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

組入投資信託の運用状況〈月次〉

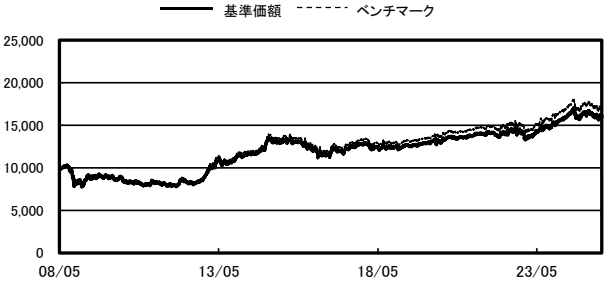
【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界バランス 75SM	SMAM ・国内株式インデックスファンド・VA（適格機関投資家専用） 三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用） 三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用）	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

＜三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS＞

（2025年5月30日現在）

● 設定来運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ ベンチマークは、ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を指します。
■ ベンチマークは、2008年5月14日を10000として指数化しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	0.54%	−0.19%	−1.23%	−2.00%	60.08%
ベンチマーク	0.56%	−0.14%	−1.11%	−1.77%	70.42%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
　上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
※ 設定来は、2008年5月14日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
債券	98.6%	−0.6%
先物等	0.0%	0.0%
現預金等	1.4%	0.6%
合　計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● ポートフォリオの状況

平均残存年数	8.03 年
修正デュレーション	6.17 年
複利利回り	3.42%

● 通貨別構成

アメリカドル	45.9%
ユーロ	30.4%
中国元(オフショア)	11.4%
イギリスポンド	5.6%
カナダドル	2.0%
その他	4.8%

※現物債券評価額対比

● 残存年限別構成

1年未満	1.5%
1−3年	28.5%
3−7年	34.1%
7−10年	13.5%
10年以上	22.4%

※現物債券評価額対比

米国では、長期金利（10年国債利回り）は上昇しました。月前半は、ISM（全米供給管理協会）製造業および非製造業の景況指数や雇用統計が市場予想を上回ったことや、米英の貿易交渉合意や米中の関税引き下げ合意を受けて、金利は上昇しました。月後半には、米国債格下げや20年国債の入札結果が不調となったことから金利は一時的に上昇しました。しかし、その後、軟調な経済指標の発表などを受け、月末にかけて金利は上昇幅を縮小する動きとなりました。

ユーロ圏では、長期金利（ドイツ10年国債利回り）は上昇しました。月前半は、ユーロ圏の消費者物価指数が上振れたことや米英の貿易交渉合意、米中の関税引き下げ合意を受けて、金利は上昇しました。その後は、米関税政策をめぐる不透明感がくすぶり続けましたが、基本的には米国の金利に追随する展開となりました。

（為替）米ドル/円は上昇しました。月前半は、日銀の追加利上げ観測後退や米英の貿易交渉合意、米中の関税引き下げ合意を背景に、米ドル高・円安が進みました。その後は、米国の物価指数が下振れしたことやトランプ減税に伴う財政悪化観測から、米ドル安・円高となりました。月末にかけては、米欧の関税交渉をめぐる観測からもみ合いの展開となりました。

ユーロ/円は上昇しました。為替市場が米関税政策をにらんだ米ドル中心の展開となったため、ユーロは米ドルに対して円と同じような動きとなり、ユーロ/円はもみ合いの展開となりました。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

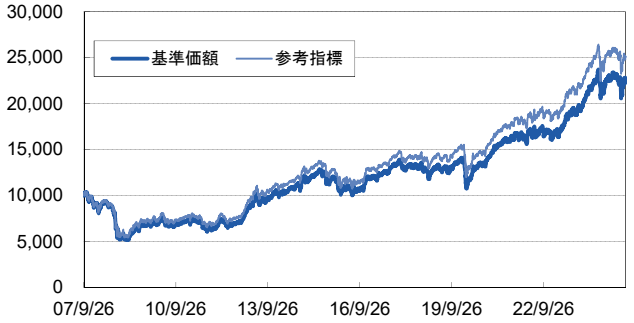
TRANSITION
トランジション
変額個人年金

組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界８資産バランス GS	グローバル・ダイバーシファイドＶＡ ＜適格機関投資家専用＞	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。
■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の結果を保証するものではありません。
■本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点でのゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

設定来の運用実績（設定日：2007年9月26日）



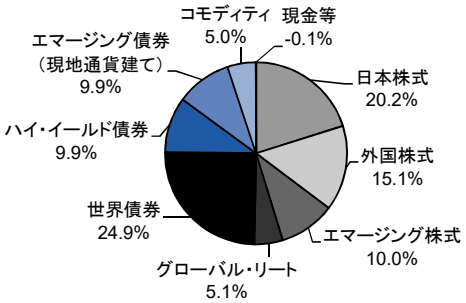
※参考指標：ブルームバーグ・グローバル・アグリゲート・インデックス(円換算ベース)25%+ブルームバーグ・US・コーポレート・ハイ・イールド・インデックス2%イシュアー・キャップ(円換算ベース)10%+JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ・グローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）10%+TOPIX（配当込み）20%+MSCIコクサイ指数（円換算ベース）15%+MSCI エマージング・マーケッツ・インデックス（円換算ベース）10%+S&P先進国REITインデックス(除く米国、トータル・リターン、円ベース)およびS&P先進国REITインデックス(トータル・リターン、円ベース)を1対1の割合で合成した指数5%+S&P GSCIトータル・リターン・インデックス（円換算ベース）5%（設定日を10,000として指数化)。上記の基準価額およびファンドの期間別騰落率は信託報酬控除後のものです。本ファンドの騰落率を参考指標と比較して評価することは、特に1年未満程度の短期間については資産の評価時点や評価為替レート等の差異の影響が相対的に大きく、必ずしも適切でない場合がありますのでご留意ください。また、参考指標には直接投資することはできず、費用や流動性等の市場要因なども考慮されておりません。

期間別騰落率（%）

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	3.86	0.27	0.53	0.97	34.01	125.96
参考指標	2.66	−0.94	−0.10	0.17	34.26	151.18

※設定来は、2007年9月26日を基準とします。

資産配分

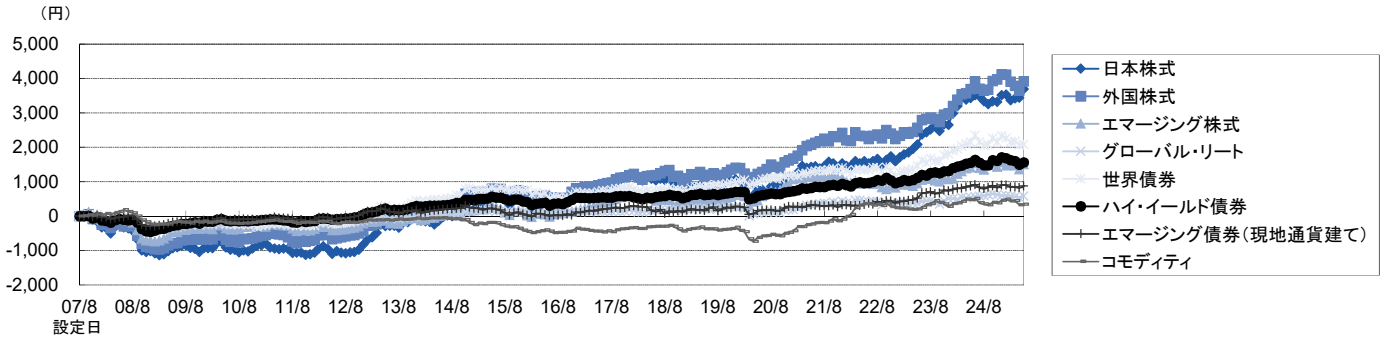


上記は各指定投資信託証券の組入比率です。

（ご参考）基準価額変動の要因分析（1万口当たり、円）

資産区分	寄与額												
	24/6	24/7	24/8	24/9	24/10	24/11	24/12	25/1	25/2	25/3	25/4	25/5	設定来
日本株式	85	−33	−146	−76	82	−18	189	22	−166	52	21	246	3,688
外国株式	223	−210	−53	22	256	48	148	−11	−206	−121	−141	272	3,917
エマージング株式	116	−140	−44	131	86	−131	125	−85	28	−28	−118	153	1,508
グローバル・リート	21	13	8	30	27	−23	−30	1	−9	−19	−32	46	582
世界債券	201	−194	−108	21	200	−111	176	−69	−108	13	−109	16	2,081
ハイ・イールド債券	90	−89	−78	2	156	−27	104	−22	−55	−27	−103	59	1,561
エマージング債券（現地通貨建て）	35	−80	−37	44	40	−56	80	−1	−60	6	−26	52	877
コモディティ	43	−127	−36	−28	80	−19	72	34	−48	2	−115	14	342
その他	−16	−19	−15	−16	−17	−15	−18	−18	−16	−17	−16	−18	−1,959
合計	799	−879	−509	131	910	−353	846	−148	−640	−139	−639	839	12,596

●変動要因の推移（累積）



上記は簡便法に基づく概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。各指定投資信託証券による寄与度は円未満を四捨五入して表示しているため、その合計は本ファンドの基準価額の変動額と合わないことがあります。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

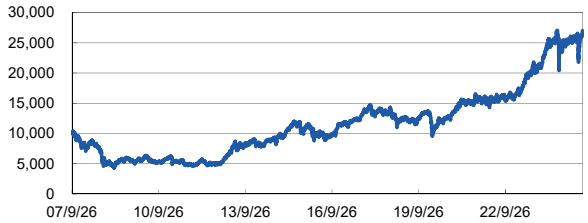
組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界８資産バランス GS	グローバル・ダイバーシファイドＶＡ ＜適格機関投資家専用＞	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

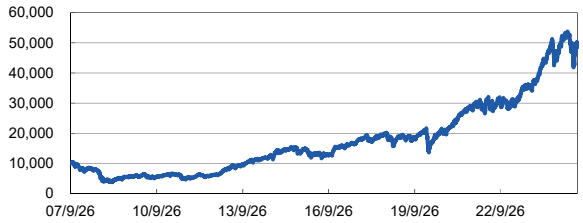
■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。
■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の結果を保証するものではありません。
■本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点でのゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

指定投資信託証券の運用実績

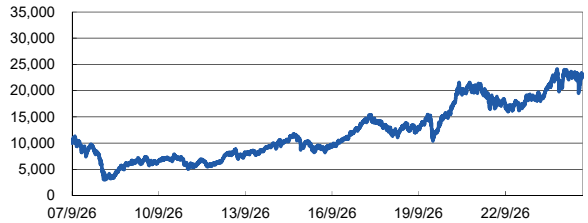
日本株式
日本株計量運用ポートフォリオ・マザーファンド



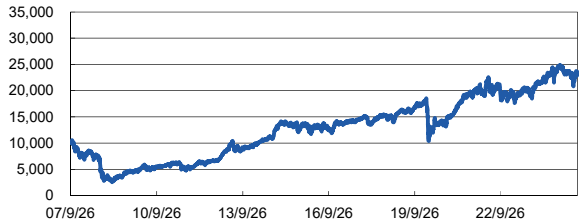
外国株式
外国株計量運用ポートフォリオ・マザーファンド



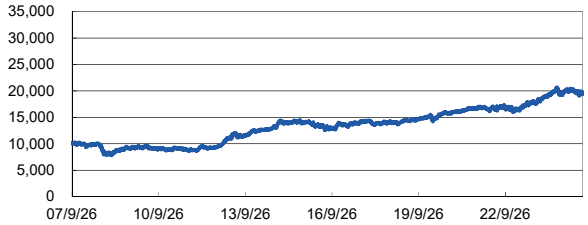
エマージング株式
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツ・エクイティ・ポートフォリオ



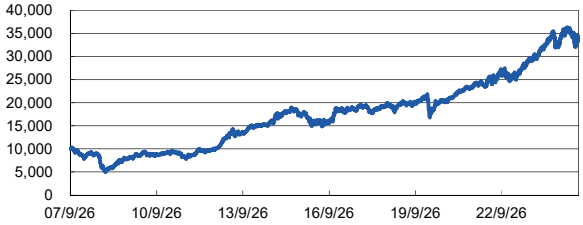
グローバル・リート
グローバルREITポートフォリオ・マザーファンド



世界債券
ゴールドマン・サックス・グローバル・フィックスト・インカム・ポートフォリオ

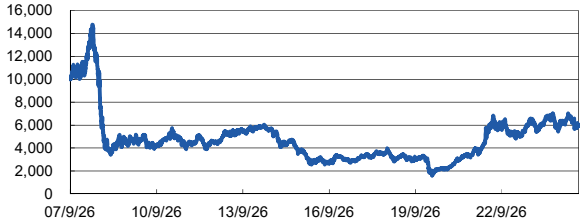


ハイ・イールド債券
ゴールドマン・サックス・グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ



エマージング債券（現地通貨建て）
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツ・デット・ローカル・ポートフォリオ

コモディティ
iシェアーズ S&P GSCI コモディティ・インデックス・トラスト



上記グラフは本ファンドが組入れている各指定投資信託証券の実績であり、本ファンドそのものの実績ではありません。上記のグラフのうち、外貨建の指定投資信託証券の運用実績については円換算を行っており、円換算には三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値（TTMレート）を用いています。なお、各指定投資信託証券の運用実績は、本ファンドの設定日（2007年9月26日）を10,000として指数化しています。また上記コモディティのグラフにつきまして、2008年4月18日までの期間は、ゴールドマン・サックス・コモディティーズ・エンハンスト・インデックス・ポートフォリオ、2020年8月31日までの期間はゴールドマン・サックス　エンハンスト・コモディティ・サブ・トラストの実績です。上記グローバル・リートのグラフにつきまして、2010年1月6日までの期間は、ゴールドマン・サックス　グローバルREITマザーファンドの実績です。上記エマージング株式のグラフにつきまして、2013年10月18日までの期間は、ゴールドマン・サックス・グロース＆エマージング・マーケッツ・エクイティ・ポートフォリオの実績です。

【指定投資信託証券変更のお知らせ】
2020年9月1日よりコモディティ部分の指定投資信託証券が従来のゴールドマン・サックス　エンハンスト・コモディティ・サブ・トラストからiシェアーズ　S&P　GSCI　コモディティ・インデックス・トラストに変更となりました。新規に組み入れられた指定投資信託証券も従来と同じS&P　GSCI トータル・リターン・インデックス（米ドル・ベース）をベンチマークとし、インデックスの実績に概ね対応する投資成果をあげることを目標としています。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

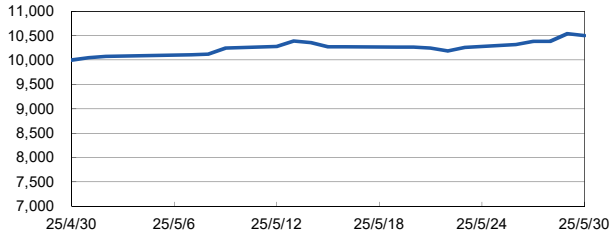
組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界８資産バランス GS	グローバル・ダイバーシファイドＶＡ ＜適格機関投資家専用＞	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

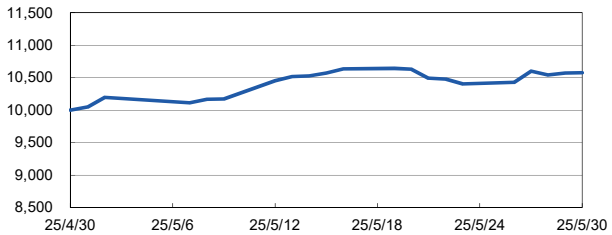
■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。
■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の結果を保証するものではありません。
■本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点でのゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

マーケット概況（2025年5月）

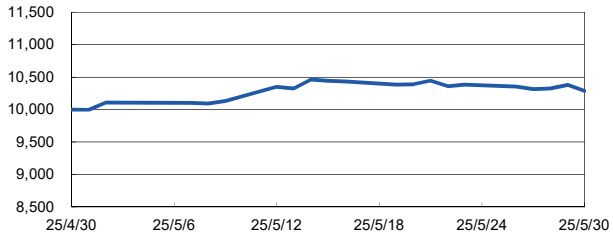
日本株式市場
TOPIX（配当なし）



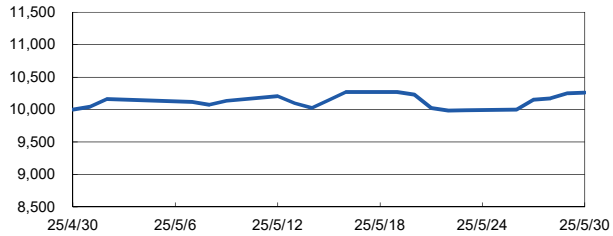
外国株式市場
MSCIコクサイ指数（現地通貨ベース）



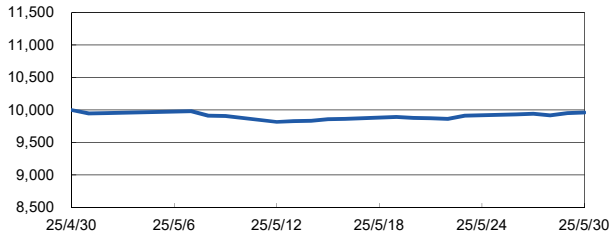
エマージング株式市場
MSCI エマージング・マーケッツ・インデックス（現地通貨ベース）



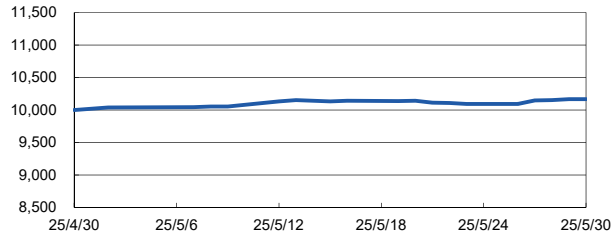
グローバル・リート市場
S&P先進国REITインデックス（トータル・リターン、米ドルヘッジベース）



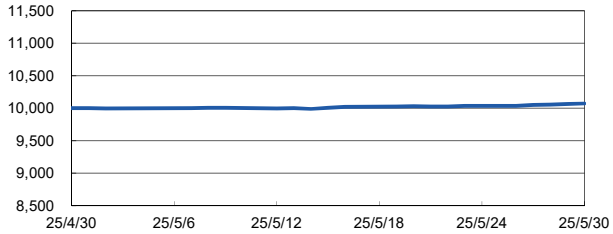
世界債券市場
ブルームバーグ・グローバル・アグリゲート・インデックス（米ドルベース）



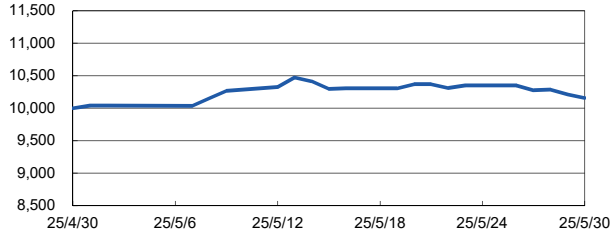
ハイ・イールド債券市場
ブルームバーグ・US・コーポレート・ハイ・イールド・インデックス
2%イシュアー・キャップ（米ドルベース）



エマージング債券（現地通貨建て）市場
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ・グローバル・ダイバーシファイド（現地通貨ベース）



コモディティ市場
S&P GSCIトータル・リターン・インデックス（米ドルベース）



上記グラフは各資産クラスの市場の動きを示すために、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が任意に選んだ指数の推移を示したものであり、本ファンドの各指定投資信託証券のベンチマークとは限りません。前月末を10000として指数化しています。

TOPIX（東証株価指数）の指数値およびTOPIX（東証株価指数）に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。
MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者（以下総称して「MSCI当事者」といいます）は、MSCIの情報について一切の保証（独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界８資産バランス GS	グローバル・ダイバーシファイドＶＡ ＜適格機関投資家専用＞	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。
■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の結果を保証するものではありません。
■本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点でのゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

マーケットコメント －1（2025年5月）

【日本株式市場】
当月の国内株式市場は上昇しました。
上旬は、トランプ米政権がバイデン前政権時代に策定されたAI（人工知能）向け半導体の輸出規制案を撤回することが報道されたほか、米IT企業の堅調な決算発表を受けて、国内株式市場は堅調に推移しました。中旬は、トランプ米大統領が薬価大幅引き下げに関する大統領令に署名することを表明し、医薬品銘柄は軟調に推移したものの、米中両政府が相互に課していた追加関税の引き下げに合意したことで、米中の関税協議の進展が好感され、国内株式市場は小幅に上昇しました。下旬は、米財政悪化懸念の高まりから米長期金利が上昇したことなどが株式市場の重しとなりましたが、米国がEU（欧州連合）への50%の関税発動を延期すると表明したことや、米関税措置に対する違法判断などを受けて、国内株式市場は概ね堅調に推移しました。
なお、業種別の騰落率では、非鉄金属、倉庫・運輸関連業、機械などが上位となった一方、電気・ガス業、パルプ・紙、鉄鋼などが下位となりました。

【外国株式市場】
当月の外国株式市場は上昇しました。
上旬は、トランプ米政権がバイデン前政権時代に策定されたAI（人工知能）向け半導体の輸出規制案を撤回することが報道されたほか、米IT企業の堅調な決算発表を受けて、外国株式市場は堅調に推移しました。中旬は、トランプ米大統領が薬価大幅引き下げに関する大統領令に署名することを表明し、医薬品銘柄は軟調に推移したものの、米中両政府が相互に課していた追加関税の引き下げに合意したことで、米中の関税協議の進展が好感され、外国株式市場は上昇しました。下旬に入ると、米財政悪化懸念の高まりから米長期金利が上昇したことで下落しましたが、月末にかけては米国がEU（欧州連合）への50%の関税発動を延期すると表明したことや、米関税措置に対する違法判断などを受けて反発しました。

【エマージング株式市場】
当月のエマージング株式市場は上昇しました。
上旬は、トランプ米政権がバイデン前政権時代に策定されたAI（人工知能）向け半導体の輸出規制案を撤回することが報道されたほか、米IT企業の堅調な決算発表を好感して、台湾株式市場は堅調に推移しました。中旬は、米中両政府が相互に課していた追加関税の引き下げで合意したことで、米中の関税協議の進展が好感され、中国株式市場は小幅に上昇しました。下旬は、米財政悪化懸念の高まりから米長期金利が上昇したことなどがエマージング株式市場の重しとなりました。

【グローバル・リート市場】
当月のグローバル・リート市場は上昇しました。
米国はトランプ政権下の各国との貿易交渉が進展したことが好感されて前月来の緩やかな回復が続き、後半には国債格下げや減税法案を受けた財政悪化懸念などで金利上昇がみられるも、前月比では上昇となりました。欧州は米国との貿易交渉が進展したほか、EU（欧州連合）と英国間での関係再構築に向けた協定締結なども好感されて上昇しました。また、欧州中央銀行による利下げ姿勢の継続も回復の後押しとなりました。アジアのリート市場も堅調に推移しました。中国は中国人民銀行が利下げを含めた金融緩和策を発表したほか、米中首脳会談による貿易交渉の進展期待もあって堅調に推移しました。オーストラリアは中央銀行による利下げ決定と今後の追加緩和期待が高まったことで上昇しました。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界８資産バランス GS	グローバル・ダイバーシファイドＶＡ ＜適格機関投資家専用＞	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。
■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の結果を保証するものではありません。
■本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点でのゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

マーケットコメント －2（2025年5月）

【世界債券市場】
当月の世界債券市場では、主要先進国の国債利回りは概ね上昇（価格は下落）しました。
米国では、月の前半は、4月のISM（米供給管理協会）景況指数が製造業と非製造業のいずれも市場予想を上回ったことに加えて、雇用統計における非農業部門雇用者数が上振れし、米景気の先行きに対する悲観的な見方が弱まったことなどから利回りは上昇しました。また、一部の国債入札の結果が軟調になったことや、米中両政府が追加関税の一時停止で合意したことなども利回りの上昇要因となりました。中旬は、4月のPPI（生産者物価指数）上昇率が市場予想に反して前月から低下した局面などで利回りは低下しましたが、減税案を巡る財政悪化懸念が高まると、利回りは上昇に転じました。月末は、一部の国債入札の結果が堅調になった局面などで利回りは低下しましたが、米国10年国債利回りは、前月末対比で上昇しました。
ドイツでは、月の前半は、4月のユーロ圏のCPI（消費者物価指数）速報値が市場予想を上回ったことや、5月のZEW（欧州経済研究センター）景況感指数が前月から大きく改善したことなどを背景に、利回りは概ね上昇基調で推移しました。月の後半は、5月のドイツのPMI（購買担当者景気指数）速報値が製造業と非製造業のいずれも市場予想を下回り、同国経済に対する先行き不透明感が強まった局面などで利回りは低下したものの、ドイツ10年国債利回りは、前月末対比で上昇しました。

【ハイ・イールド市場】
当月のハイ・イールド社債市場は、代表的な指標であるブルームバーグUSコーポレート・ハイ・イールド・インデックス（米ドルベース）が前月末比+1.68%となりました。
月の前半は、米中貿易摩擦の緩和への期待が高まったことなどから、スプレッド（米国債に対する上乗せ金利）は縮小しました。その後は、米国の原油在庫が増加し、原油価格が下落した局面などでスプレッドは拡大しました。格付け別では、CCC格債がBB格債やB格債をアウトパフォームしました。セクター別では、メディアや油田サービスなどがアウトパフォームした一方、鉄道や天然ガスなどがアンダーパフォームしました。

【エマージング債券（現地通貨建て）市場】
当月のJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ・グローバル・ダイバーシファイド（現地通貨ベース）のリターンは、前月末比+0.7%となりました。
当月のエマージング債券市場は、米国の関税政策への懸念が緩和したことなどが下支えとなりました。国別では、南アフリカやトルコなどが上昇した一方、ポーランドや中国などが市場全体に比べ軟調となりました。南アフリカは、連立政権崩壊のリスクが後退したこと、中央銀行が利下げを決定したことなどが支援材料となりました。一方、ポーランドは、4月の鉱工業生産が鈍化したほか、大統領選第一回投票が接戦となるなか政治的不透明感などが重石となりました。

【コモディティ市場】
当月のコモディティ市場（S&P GSCI）は前月比+1.6%となりました（米ドル・ベース）。市場のリスクセンチメントの改善等を背景に、4月に大幅に下落した原油価格が反発しました。貴金属では銀価格や銅価格が上昇した一方で、金価格が下落しました。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

作成基準日　2025年5月末

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

組入投資信託の運用状況〈月次〉

【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界株式SM	SMAM ・国内株式インデックスファンド・VA（適格機関投資家専用） 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用）	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

＜SMAM・国内株式インデックスファンド・VA＞

（2025年5月30日現在）

● 設定来運用実績

■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ ベンチマークは、ＴＯＰＩＸ（東証株価指数、配当込み）を指します。
■ ベンチマークは、2010年6月10日を10000として指数化しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	5.07%	5.62%	5.76%	3.25%	336.92%
ベンチマーク	5.10%	5.69%	5.92%	3.58%	358.57%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
　上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
※ 設定来は、2010年6月10日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
株式	98.3%	0.4%
先物等	1.8%	−0.3%
現預金等	−0.1%	0.0%
合　計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● 組入上位10業種

	業種名	比率
1	電気機器	17.4%
2	銀行業	9.0%
3	情報・通信業	7.8%
4	輸送用機器	7.3%
5	卸売業	7.0%
6	機械	5.9%
7	化学	4.8%
8	小売業	4.8%
9	サービス業	4.5%
10	医薬品	4.1%

※現物株式評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	トヨタ自動車	3.6%
2	ソニーグループ	3.2%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.2%
4	日立製作所	2.6%
5	三井住友フィナンシャルグループ	1.9%
6	任天堂	1.8%
7	リクルートホールディングス	1.6%
8	キーエンス	1.5%
9	三菱重工業	1.5%
10	東京海上ホールディングス	1.4%

※純資産総額対比　（組入全銘柄数　1,639 ）

国内の株式市場は上昇しました。
上旬は、国内企業の2024年度通期決算発表において、先行きに関して米関税政策の影響を反映して総じて保守的な見通しが多く見られましたが、日銀の追加利上げ観測後退による米ドル高・円安進行、米国と各国との貿易交渉進展期待から上昇しました。中旬は、米中の相互関税の大幅引き下げが好感される一方、米国債格下げが重石となり一進一退となりました。下旬は、日米長期金利上昇の一服、米国のEU（欧州連合）に対する追加関税導入の先送り、米半導体企業の決算内容を好感する形で上昇しました。
業種別では、非鉄金属、倉庫・運輸関連業、機械などが市場をアウトパフォームした一方、電気・ガス業、パルプ・紙、鉄鋼などがアンダーパフォームしました。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

作成基準日　2025年5月末

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

組入投資信託の運用状況〈月次〉

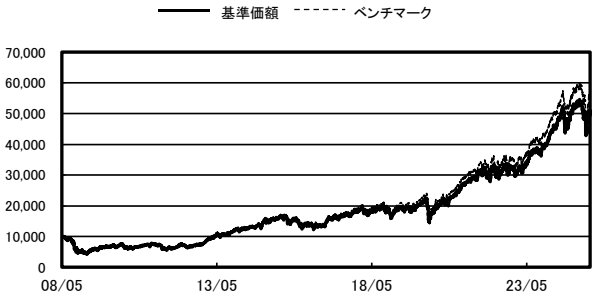
【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
世界株式SM	SMAM ・国内株式インデックスファンド・VA（適格機関投資家専用） 三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用）	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

＜三井住友・外国株式インデックスファンド・VAS＞

（2025年5月30日現在）

● 設定来運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ ベンチマークは、ＭＳＣＩコクサイインデックス（配当込み、円ベース）を指します。
■ ベンチマークは、2008年5月14日を10000として指数化しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	7.19%	−1.10%	−2.43%	5.01%	404.01%
ベンチマーク	7.27%	−0.86%	−2.07%	5.73%	455.54%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
　上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
※ 設定来は、2008年5月14日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
株式	97.6%	−0.3%
先物等	2.4%	0.1%
現預金等	0.0%	0.2%
合　計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● 国別投資比率

アメリカ	73.2%
イギリス	3.8%
カナダ	3.5%
スイス	2.9%
フランス	2.8%
その他	13.8%

※現物株式評価額対比（外貨建リートを含む）

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.9%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.6%
3	APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	4.3%
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・ｻｰﾋﾞｽ流通・小売り	2.8%
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	2.0%
6	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.5%
7	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.5%
8	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.4%
9	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.2%
10	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.1%

※純資産総額対比　（組入全銘柄数　1,170 ）

米国株式市場は上昇しました。トランプ大統領が関税政策を緩和するとの期待から、株式市場は月初から底堅く推移しました。さらに、米中の関税に関しても双方の歩み寄りが示されたことを好感し、一段高となりました。しかし、月の後半には、好材料の出尽くし感が広がる中、米国債格下げや長期金利の上昇などを受け、株式市場は下落する局面がありました。その後、米国のEU（欧州連合）に対する追加関税導入の先送りやエヌビディアの堅調な決算内容などを受けて持ち直し、S&P500インデックスは、年始からの下落分を取り戻して月を終えました。

欧州株式市場も上昇しました。米中の関税協議が進展したことから、世界的な景気後退が回避されるとの見方が広がりました。ロシアとウクライナの停戦期待や米国のEUに対する追加関税導入の先送りも下支え要因となりました。

（為替）米ドル/円は上昇しました。月前半は、日銀の追加利上げ観測後退や米英の貿易交渉合意、米中の関税引き下げ合意を背景に、米ドル高・円安が進みました。その後は、米国の物価指数が下振れしたことやトランプ減税に伴う財政悪化観測から、米ドル安・円高となりました。月末にかけては、米欧の関税交渉をめぐる観測からもみ合いの展開となりました。

ユーロ/円は上昇しました。為替市場が米関税政策をにらんだ米ドル中心の展開となったため、ユーロは米ドルに対して円と同じような動きとなり、ユーロ/円はもみ合いの展開となりました。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

作成基準日　2025年5月末

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

組入投資信託の運用状況〈月次〉

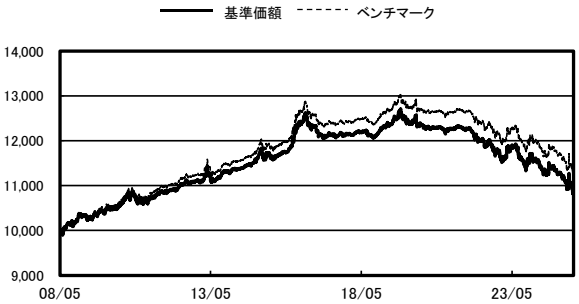
【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
日本債券ＳＭ	三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS （適格機関投資家専用）	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

＜三井住友・国内債券インデックスファンド・VAS＞

（2025年5月30日現在）

● 設定来運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ ベンチマークは、ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（総合）を指します。
■ ベンチマークは、2008年5月14日を10000として指数化しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	−1.30%	−1.77%	−3.30%	−3.00%	9.06%
ベンチマーク	−1.29%	−1.68%	−3.16%	−2.76%	13.32%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
　上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
※ 設定来は、2008年5月14日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
債券	99.8%	−0.1%
先物等	0.0%	0.0%
現預金等	0.2%	0.1%
合　計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● ポートフォリオの状況

平均クーポン	0.99%
平均修正デュレーション	8.39 年
平均利回り	1.45%

● 債券種別構成

国債	78.6%
政府保証債	1.7%
地方債	9.6%
金融債	0.0%
事業債	8.7%
円建外債	0.0%
その他	1.4%

※現物債券評価額対比

● 残存年限別構成

1年未満	1.6%
1−3年	18.0%
3−5年	18.4%
5−7年	11.7%
7−10年	17.4%
10年以上	32.9%

※現物債券評価額対比

国内の長期金利（10年国債利回り）は上昇しました。
月初は、日銀が成長率や物価の見通しを引き下げ、政策変更に慎重な姿勢も見せたことから、長期金利は低下して始まりました。その後は、米国で事前予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ米国金利が上昇したことや、中旬に行われた米中協議で90日間の関税引き下げが合意されたことから、国内金利は上昇が続きました。また、20年国債入札が記録的に低調な結果となるなど、財政悪化懸念が意識される中で超長期国債への需給不安が高まったことも、長期金利の上昇につながりました。下旬には、財務省が発行計画に関するアンケートを実施したことを機に超長期国債の発行減額への期待が高まり、長期金利は上昇幅をやや縮小しました。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

作成基準日　2025年5月末

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

組入投資信託の運用状況〈月次〉

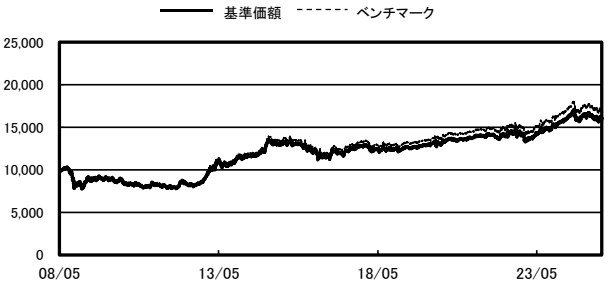
【特別勘定の名称】	【特別勘定が主たる投資対象とする投資信託】	【運用会社】
外国債券ＳＭ	三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS （適格機関投資家専用）	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。
■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。
■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。

＜三井住友・外国債券インデックスファンド・VAS＞

（2025年5月30日現在）

● 設定来運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ ベンチマークは、ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を指します。
■ ベンチマークは、2008年5月14日を10000として指数化しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	0.54%	−0.19%	−1.23%	−2.00%	60.08%
ベンチマーク	0.56%	−0.14%	−1.11%	−1.77%	70.42%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
　上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
※ 設定来は、2008年5月14日を基準とします。

● 資産構成

	ファンド	前月比
債券	98.6%	−0.6%
先物等	0.0%	0.0%
現預金等	1.4%	0.6%
合　計	100.0%	0.0%

※純資産総額対比

● ポートフォリオの状況

平均残存年数	8.03 年
修正デュレーション	6.17 年
複利利回り	3.42%

● 通貨別構成

アメリカドル	45.9%
ユーロ	30.4%
中国元(オフショア)	11.4%
イギリスポンド	5.6%
カナダドル	2.0%
その他	4.8%

※現物債券評価額対比

● 残存年限別構成

1年未満	1.5%
1−3年	28.5%
3−7年	34.1%
7−10年	13.5%
10年以上	22.4%

※現物債券評価額対比

米国では、長期金利（10年国債利回り）は上昇しました。月前半は、ISM（全米供給管理協会）製造業および非製造業の景況指数や雇用統計が市場予想を上回ったことや、米英の貿易交渉合意や米中の関税引き下げ合意を受けて、金利は上昇しました。月後半には、米国債格下げや20年国債の入札結果が不調となったことから金利は一時的に上昇しました。しかし、その後、軟調な経済指標の発表などを受け、月末にかけて金利は上昇幅を縮小する動きとなりました。

ユーロ圏では、長期金利（ドイツ10年国債利回り）は上昇しました。月前半は、ユーロ圏の消費者物価指数が上振れたことや米英の貿易交渉合意、米中の関税引き下げ合意を受けて、金利は上昇しました。その後は、米関税政策をめぐる不透明感がくすぶり続けましたが、基本的には米国の金利に追随する展開となりました。

（為替）米ドル/円は上昇しました。月前半は、日銀の追加利上げ観測後退や米英の貿易交渉合意、米中の関税引き下げ合意を背景に、米ドル高・円安が進みました。その後は、米国の物価指数が下振れしたことやトランプ減税に伴う財政悪化観測から、米ドル安・円高となりました。月末にかけては、米欧の関税交渉をめぐる観測からもみ合いの展開となりました。

ユーロ/円は上昇しました。為替市場が米関税政策をにらんだ米ドル中心の展開となったため、ユーロは米ドルに対して円と同じような動きとなり、ユーロ/円はもみ合いの展開となりました。

・特別勘定のユニット価格と投資信託の基準価格の値動きは必ずしも一致しません。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることと、特別勘定が用いる投資信託の値動きには反映されていない保険契約関連費用を控除することによります。
・当資料の「表紙：当資料をご覧いただく際の留意事項」「巻末：当商品に関する留意事項」を必ずご確認下さい。

TRANSITION
トランジション
変額個人年金

ご留意いただきたい事項について

投資リスクについて

〈ご注意〉

この保険は、特別勘定の運用実績に基づいて、将来の年金額、死亡給付金額、解約払戻金額等が増減します。**特別勘定は、国内外の株式･債券等を実質投資対象とするため、特別勘定の資産運用には、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。「株価の下落」、「債券価格の下落」、「為替変動」等によりお受取りになる年金の合計額、解約払戻金額等が払込保険料（一時払保険料）を下回り、損失が生じる可能性があります。**選択した特別勘定の種類によっては基準となる指標やリスクの種類が異なることとなります。これら投資リスクは、変額個人年金保険をご契約のお客さまが負うことになります。

お客さまにご負担いただく費用について

●お客さまにご負担いただく費用です。詳細につきましては、ご契約商品の「ご契約のしおり・約款」および「特別勘定のしおり」もあわせてご参照ください。

＜全てのお客さまにご負担いただく費用＞

● 契約初期費用 …… 一時払保険料に対して４％を契約日に控除します。

● 保険契約関連費用 …… 据置期間中および年金受取期間中の積立金額に対して年率 1.5%を日割りで控除します。

● 運用関連費用 …… 投資信託の信託報酬について、特別勘定の運用にかかる費用として特別勘定の投資対象となる投資信託の信託財産に対して、年率 0.22 ～ 0.89275%（税込）を日割りで控除します。信託報酬以外でお客さまにご負担いただく手数料は、信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニット価格に反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。なお、運用関連費用は運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

＜特定のお客さまにご負担いただく費用＞

● 解約、一部解約する際にかかる費用 ‥ ご契約から３年未満の「解約」「一部解約」に際し、解約控除の対象となる額に対して、経過年数に応じ 2.0%～ 1.0%を控除します。

● 年金一括受取する際にかかる費用 … ご契約から３年未満の「年金一括受取」に際し、年金一括受取控除の対象となる額に対して経過年数に応じ 1.5%～ 1.0%を控除します。

● 年金額９割保証特約および年金額８割保証特約を付加した場合の費用 …… 年金額を保証するための費用として年金支払開始日以後、主契約の保険契約関連費用と併せて、積立金額に対して年率 0.6%を日割りで控除します。

※「年金額９割保証特約」と「年金額８割保証特約」は、ご契約日が 2010 年３月１日以前のご契約（ターゲット・プランを除く）のみ対象となります。

● 年金管理費 …… 定額年金払移行後特約を付加し、定額年金払で受取る場合、特約年金受取日に積立金から特約年金額の 1%を控除します。

※定額年金払移行後特約による定額年金への移行後および新遺族年金支払特約による特約年金受取期間中は、保険契約関連費用および運用関連費用はかかりませんが、費用等を控除したニッセイ・ウェルス生命の定める率により一般勘定で運用を行います。

お客さまの不利益となる保険契約に関する重要事項について

●将来お支払する年金の原資と、毎年の年金額に最低保証はありません。

●解約払戻金額に最低保証はありません。

その他の留意点

●「変額個人年金」は、ニッセイ・ウェルス生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。

● 商品内容の詳細につきましては、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」を必ずご覧いただき、内容をご確認下さい。なお、当商品は現在ご加入いただけません。

【引受保険会社】
ニッセイ･ウェルス生命保険株式会社
〒141-6023　東京都品川区大崎 2-1-1
変額個人年金専用フリーダイヤル **TEL:0120-803-511**
※お客さまからのお問い合せに対する適切な対応のため、
通話を録音させていただいております。
受付時間：月～金曜（祝日・年末年始はのぞきます）　午前9:00～午後5:00
ホームページ　www.nw-life.co.jp